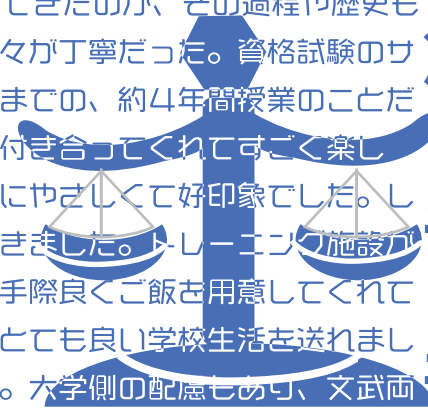


Toin University of YOKOHAMA  
桐蔭横浜大学  
2020年度卒業生アンケート



憲法について教えるのではなく、その法律がなぜできたのか、その過程や歴史も教えてくれる。キャリア情報センターの職員の方々が丁寧だった。資格試験のサポートをしていただいた。大学に入ってから卒業までの、約4年間授業のことだけでなく私生活の話だったりくだらない会話に付き合ってくれてすごく楽しかったです。挨拶を大切にしているところ基本的にやさしくて好印象でした。しかし怒る時は怒るので講義も緊張感があり集中できませんでした。トレーニング施設が充実していた。交流会館食堂の方がいつも笑顔で手際良くご飯を用意してくれて感謝しかないです。公務員講座が充実していた。とても良い学校生活を送れました。コミュニケーション能力を向上させてくれた。大学側の配慮もあり、文武両道で最後の学生生活を送ることが出来た。生徒の目線になり、アドバイスを頂き

法  
学  
部



医  
用  
工  
学  
部

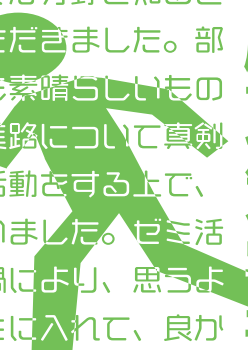
先生方には、熱心に授業して頂きました。どの先生方も質問などに親身になって答えてくれた。国試の勉強中に色々と励ましていただいたり教えていただいた。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい研究を行うことが大変ななか、親身にご指導していただきありがとうございました。コロナ禍にもかかわらず、国試対策授業をやってくださった先生方に感謝してます。学生一人一人にフィードバックがあり、とても参考になった。資格取得の支援が手厚かった。たくさん専門的な授業を受けることができた。臨床工学科の先生方は第二種 ME 技術実力検定や国家試験の対策授業をしてくださり大変お世話になった。少人数のため先生とのマンツーマンの時間が多かった。友達との交流がたくさんできて楽しかった。少人数なので同じ学科の学生と交流する機会が多かった。図書館が良かった。些細な相談も親身になって対応していただいた事。最後の一年

大学4年間を通じて  
成長したと思いますか

はい  
97.6%

ゼミの先生が私が小学校教員になるために一緒に戦ってくれた。スポーツに関する歴史や文化を通じて今現在の問題や人種差別など様々な分野を知ることが出来たのが良かった。ゼミで最後まで丁寧にご指導いただきました。部活動の教員が良く指導してくださった。学内の施設はとても素晴らしいものでした。教えてくださる教員の方々も頼りになり、授業や進路について真剣に声を聞いてくれるよい環境でした。中でもボランティア活動をする上で、ラボの方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。ゼミ活動だけじゃなく、人生のご相談でもお世話になり、コロナ禍により、思うように活動が出来なかった事は残念でありませんが、このゼミに入れて、良かったと思います。卒業論文で最後まで面倒を見てくれました。本当にお世

健康政策学部  
スポーツ



▶ 詳しくはこちらから

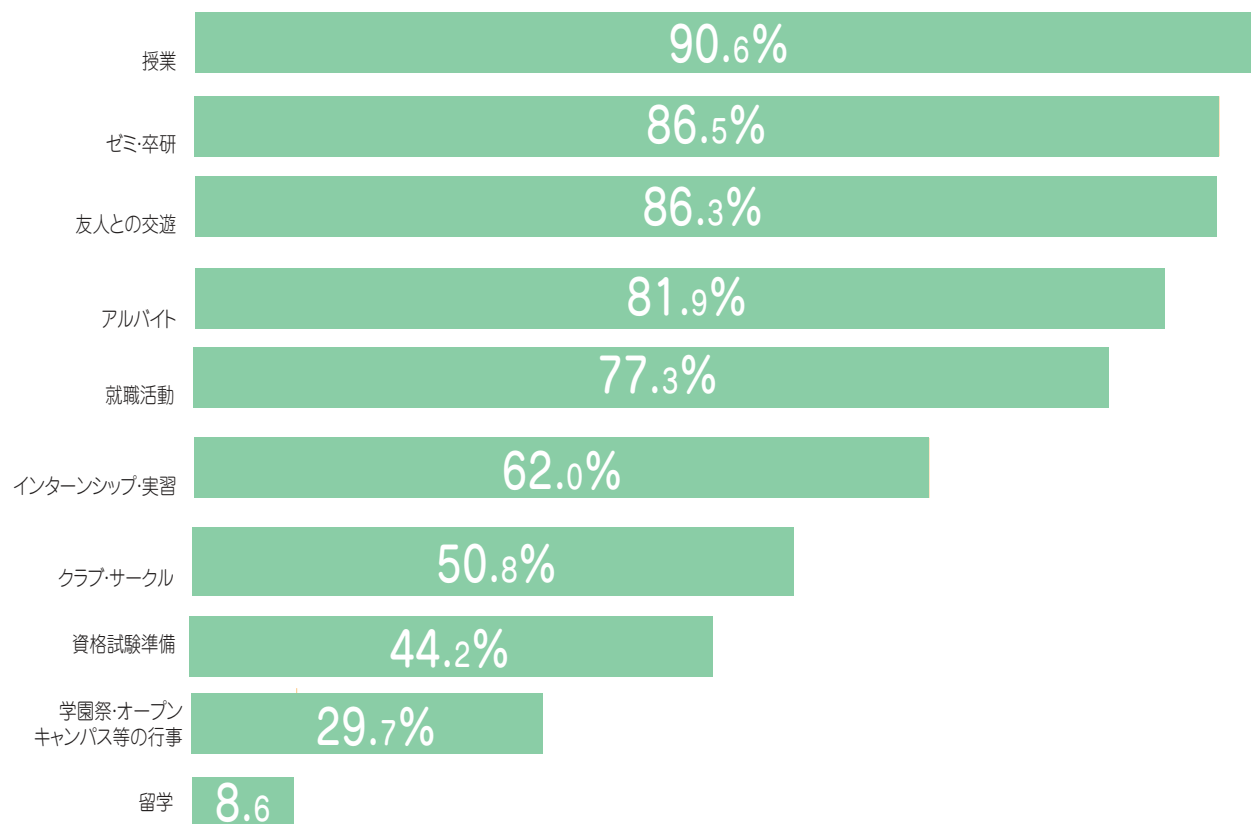
# 桐蔭横浜大学2020年度 卒業生アンケート集計結果

## アンケート実施概要

実施期間	2021年1月6日～1月29日
対象者	2021年3月に卒業する学生(525名)
調査方法	スマートキャンパス、無記名
有効回答	502名(95.6%)



Q1 在学中、以下の項目に力を入れましたか。( ■ はい )



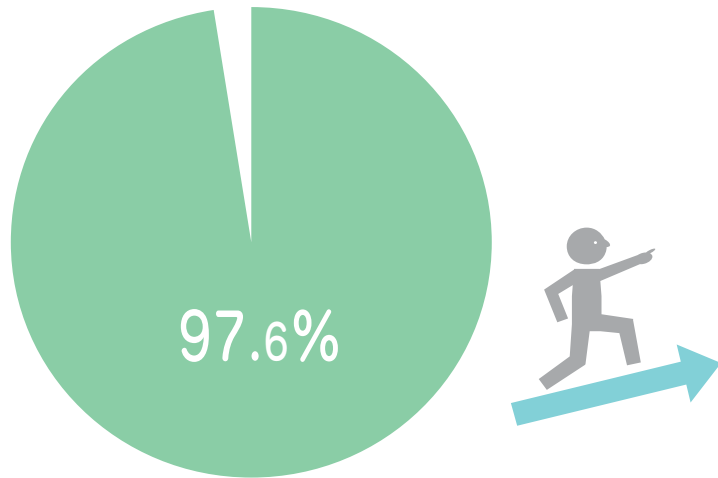
学生生活4年間で力を入れて取り組んでいたのは、「授業」が90.6%と最も多く、続いて「ゼミ・卒研」が86.5%、「友人との交遊」が86.3%という結果であった。

こうした結果からは公私ともに充実した学生生活を送っていたことが窺える。



## Q2 大学時代の成長について、以下の項目に回答してください

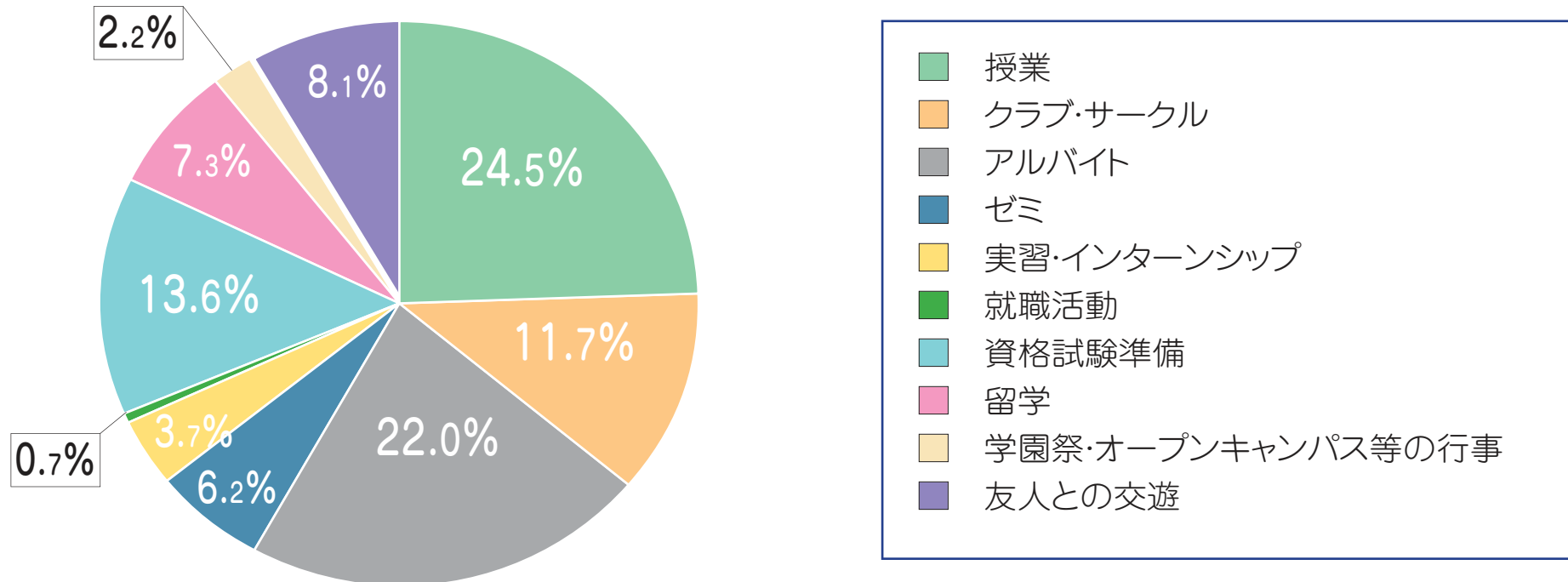
(1) 大学時代を通じて成長できたと思いますか。( ■ はい )



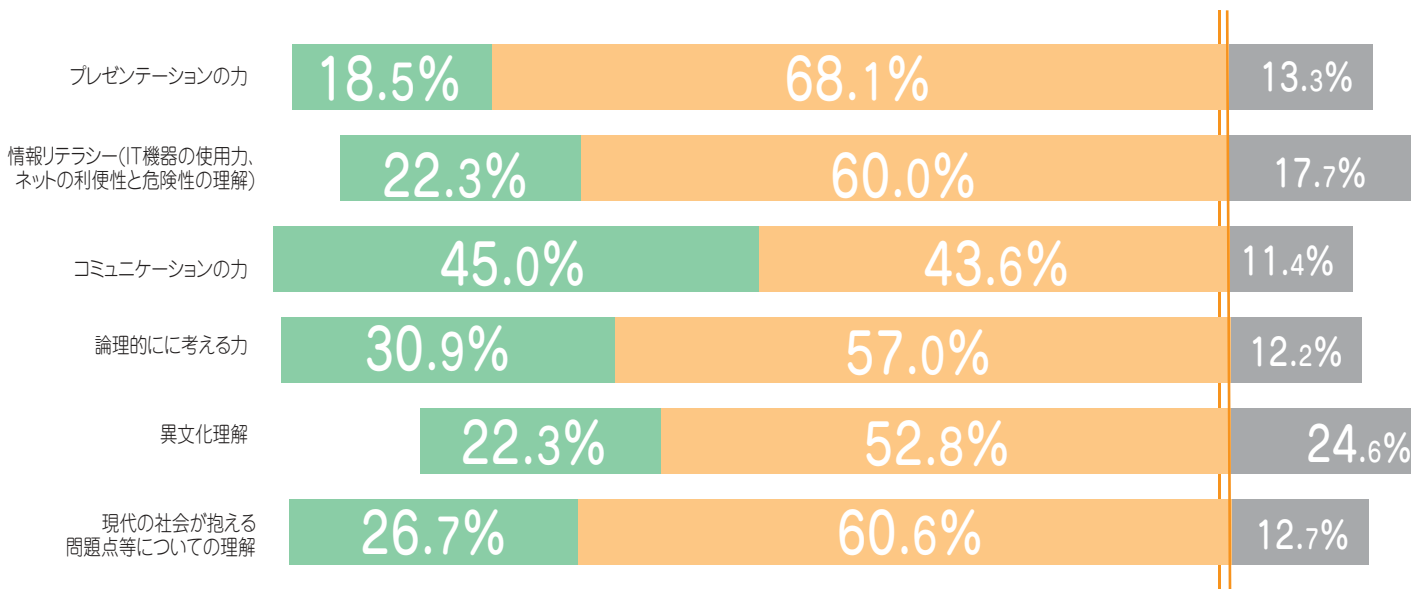
97.6%の学生が、大学生活を通じて自分自身の成長を実感できる結果となった。

成長できたことの要因として一番多かった意見が「授業」(24.5%)であり、次いで「アルバイト」(22.0%)、「資格試験準備」(13.6%)という結果であった。

(2) 上記(1)で「はい」と答えた人に尋ねます。成長に一番寄与したと思うものは次のどれだと思いますか、一つ選んでください。



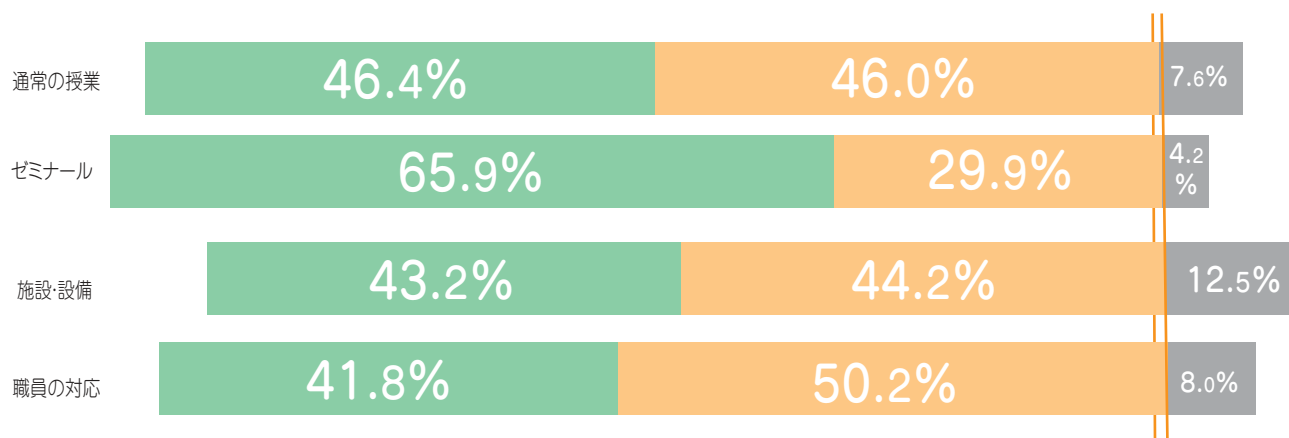
Q3. 学生時代を通じて以下の力は身についたと思いますか ( ■ おおいに身についた ■ 少し身についた ■ 身につかなかった )



学生時代に身につけた力を具体的に聞いたこの問いでは、コミュニケーションの力が、「大いに身についた」45.0%「少し身についた」43.6%と高くなった。また、プレゼンテーションの力及び論理的に考える力が「大いに」「少し」合わせるといずれも85%以上となっており、社会で大きな武器となるものを得ることができたと言える。



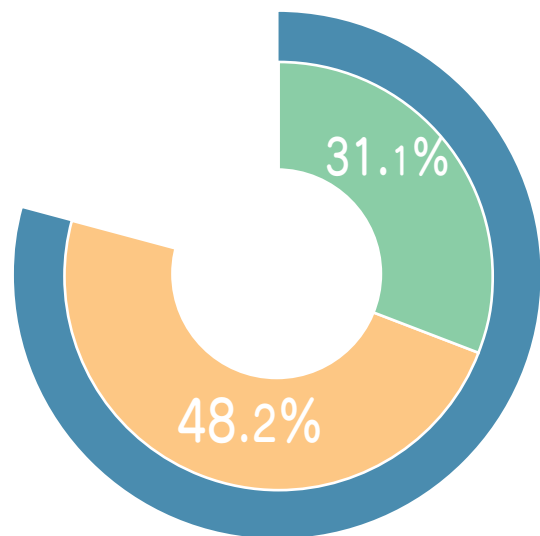
Q4. 桐蔭横浜大学の満足度について、回答してください。( ■ 満足 ■ どちらともいえない ■ 不満 )



学生として4年間、桐蔭横浜大学に関わった感想を聞くこの問いでは、概ね満足であるということが分かるが、「施設・設備」に対する不満が12.5%と他のものより高い。ラーニング・スペースの充実など、本学として検討すべき課題である。

## Q5. 桐蔭横浜大学の4年間について、回答してください

(1) 桐蔭横浜大学に通って良かったと思いますか。( ■ 大変よかった ■ まあよかった )

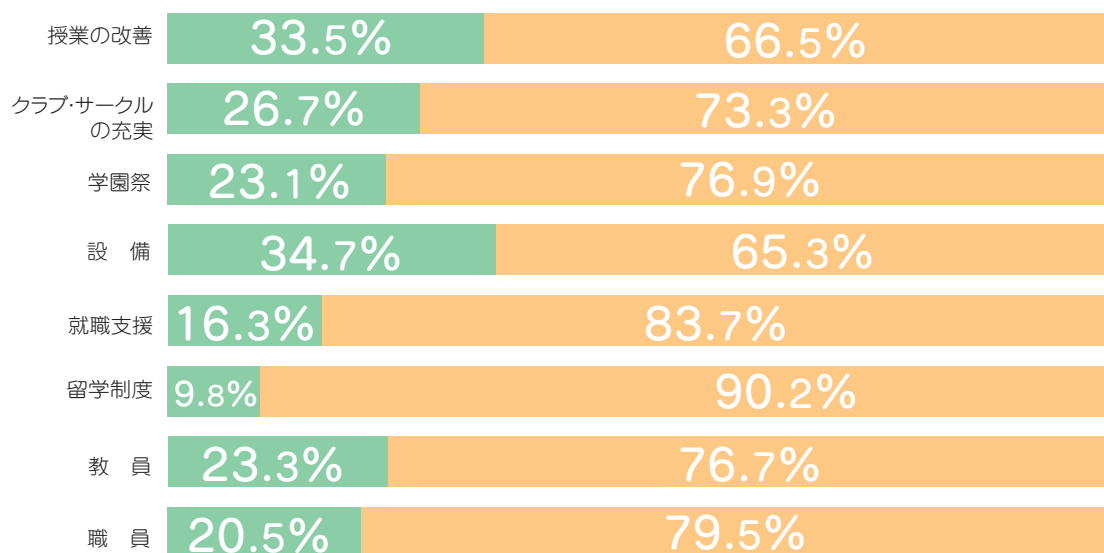


桐蔭横浜大学での4年間の感想を聞いたこの問いでは、「大変よかった」が31.1%、「まあよかった」が48.2%となっており、大半の学生は充実した学生生活を送れたことが窺える結果となった。



## Q6. 大学への要望について、回答してください

(1) 以下の項目で、大学に対して意見を言いたいと思う項目はありますか。( ■ ある ■ ない )



Q3.の回答状況と合わせ、学生がどのような力を身につけるのか、という観点から、授業改善を進めなければならない。

Q4と同じく、4年間学生として過ごした桐蔭横浜大学に意見を求めたこの問いでも、やはり、「設備」への要望が多いことが窺える。次に多いのは「授業」で33.5%となっており、対面・オンライン問わず、Q3.の回答状況と合わせ、学生がどのような力を身につけるのか、という観点から、授業改善を進めなければならない。